

2024年2月7日

報道関係各位

株式会社カネカ

IR・広報 (Investors & Public Relations) 部

カネカ有機 EL 照明を東京国立博物館へ寄贈

株式会社カネカ（本社：東京都港区、社長：田中 稔）は、1月22日に独立行政法人国立文化財機構東京国立博物館（館長：藤原 誠）（以下、東京国立博物館）と、カネカ有機 EL 照明（以下、カネカ OLED 照明）の寄贈に関する基本合意を締結しました。今後、東京国立博物館本館2階における展示室の天井照明、展示ケース照明の切り替えを進めてまいります。

東京国立博物館は、1872年に創立された日本で最も長い伝統のある博物館であり、日本を中心として広くアジア諸地域にわたる文化財について、収集、保存、管理、展示、調査研究、教育普及事業などを行っています。近年、環境規制にともない蛍光灯から他照明への切り替えが検討される中、蛍光灯照明器具の安定調達や文化財の演色性、保存性が課題となっておりました。今回寄贈するカネカ OLED 照明は、①面発光のやわらかい光により影ができにくく視認性が高い、②紫外線の発生がなく発光に伴う熱量も少なく作品の保存に優れるといった特徴を持っており、博物館が抱える様々な照明課題の解決に貢献できると考えています。また、本寄贈にあたり、今後美術館や博物館に相応しい照明について東京国立博物館と共同研究を行ってまいります。

当社は「カネカは世界を健康にする。KANEKA thinks “Wellness First”.」という考えのもと、ソリューションプロバイダーとしてグローバルに価値を提供しています。今後、東京国立博物館との連携を強化し、カネカ OLED 照明の普及のみならず、社会課題の解決につながるソリューションをともに創造してまいります。

以上



独立行政法人国立文化財機構
東京国立博物館長 藤原 誠 様（右）
株式会社カネカ
代表取締役会長 菅原 公一（左）



カネカ OLED 照明で演出した複製屏風
（東京国立博物館本館）